

製品名	サンペルカ L-2000
会社名	三和化工株式会社
住所	京都市南区上鳥羽仏現寺町56番地
担当部門	フォームデザインセンター本部
担当者(作成者)	竹本昌史
電話番号	075-671-5188
FAX番号	075-671-5441
整理番号	SK-1013

GHS分類 : 本製品は成形品であり、GHS分類の対象外である。

単一製品・混合物の区別	混合物
一般名	ポリエチレンフォーム
化学分類	オレフィン系プラスチックフォーム

吸入した場合	：固形物のため、該当しない。
皮膚に付着した場合	：かゆみやかぶれがある場合は直ちに清浄な水で洗い流し、症状によって医師の診断を受ける。
眼に入った場合	：直ちに清浄な水で洗浄し、症状によっては眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：無理に吐き出さず、症状によっては医師の診断を受ける。

適切な消火剤	：水、消火器(粉末、泡沫、炭酸ガス)、防火砂
使ってはならない消火剤	：情報なし
火災時の特有の危険有害性	：燃焼の熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素、その他の有毒ガスが発生する可能性がある。

人体に対する注意事項	: 特になし。
保護具及び緊急措置	: 特になし。
環境に対する注意事項	: 漏出したものは回収し、環境中に放置してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 特になし。

取扱い : 通常の取り扱いでは安定である。

衛生対策 : 取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

保管条件 : 直射日光、高温多湿を避け、冷暗所で保管する。

容器包装材料 : 特になし。

当製品は指定可燃物に該当するため、20m³以上の量を24時間以上保管する場合は、所轄の消防署への届け出が必要になる場合があります。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

呼吸器用保護具 : 必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 特になし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 固体
色	: 白・灰・黒・青・赤・黄・緑
臭い	: かすかなアンモニア臭
融点/凝固点	: 107°C以上/固体のため該当しない。
沸点又は初溜点及び沸点範囲	: 固体のため該当しない。
可燃性	: 可燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 情報なし。
引火点	: 340°C
自然発火点	: 350°C
分解温度	: 情報なし。
pH	: 固体のため該当しない。
動粘性率	: 固体のため該当しない。
溶解度	: 固体のため該当しない。
n - オクタノール/水分配係数(log値)	: 固体のため該当しない。
蒸気圧	: 固体のため該当しない。
密度及び/又は相対密度	: 0.045g/cm ³
相対ガス密度	: 固体のため該当しない。
粒子特性	: 固体のため該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取り扱い条件下では安定である。
化学的安定性	: 通常の取り扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 情報なし。
混濁危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	: 情報なし。
皮膚腐食性/刺激性	: 情報なし。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし。
生殖細胞変異原性	: 情報なし。
発がん性	: 情報なし。
生殖毒性	: 情報なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 情報なし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし。

誤えん有害性	：情報なし。
12. 環境影響情報	
生体毒性	：情報なし。
残留性・分解性	：情報なし。
生体蓄積性	：情報なし。
土壌中の移動性	：情報なし。
オゾン層への有害性	：情報なし。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	：国、都道府県並びに地方自治体の法規及び条例を遵守して廃棄する。 又は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	：国、都道府県並びに地方自治体の法規及び条例を遵守して廃棄する。 又は許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
14. 輸送上の注意	
国内規制がある場合の規制情報	：該当しない。
15. 適用法令	
消防法 指定可燃物(合成樹脂類)	：ポリエチレン
酸化亜鉛、カーボンブラック(灰・黒)は労働安全衛生法通知物質ですが、発泡体から飛散しないため適用外です。	
16. その他の情報	
・このデータシートは現時点で入手できた資料や情報に基づき、通常取り扱いを対象として作成しておりますが、参考情報として提供するものであり、記載のデータや評価に関して保証するものではありません。 ・本製品の事業者間の取り扱いにおいて固形物以外の状態にならず、かつ粉状又は粒状にならない製品に該当しますので、本来SDSやラベルを提供する必要はありません。ただし、加工時に粉が発生する場合には上記で適用外とした法令に適用される可能性があるため、ご注意願います。また、内容は政令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。 ・含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。	